

前橋地域 リハビリテーション



ニュース vol. 30

H24年度 事業報告

2013年8月発行
TEL:027-253-5165
FAX:027-252-7575

e-mail: kouikishien@ronenbyo.or.jp
URL: <http://www.ronenbyo.or.jp/>
〒371-0847 群馬県前橋市大友町 3-26-8
(公財) 老年病研究所附属病院内

※下記記載内容は、H24年度に実施した主な事業内容です。

1. 研修会の開催

①H24年11月17日 「認知症のリハビリテーション」
～ケアとその接し方～

講師：群馬医療福祉大学 作業療法士 山口智晴氏

参加者：リハ関連職種 64名

②H25年3月2日 「良い介助は体に良い介助」

講師：前橋医療福祉専門学校 理学療法士 中條浩樹氏

参加者：介護予防サポーター 49名



写真：研修会①の様子

2. 実地指導

老人ホーム、福祉施設、在宅事業所を訪問し、計5回実施。

3. 相談支援

電話相談：16件
面接相談：3件



写真：研修会②の様子

4. 情報誌の発行

リハビリテーション関連施設へ計3回発行。

5. 講師派遣

リハ関連団体、施設等へ計5回派遣。内容は介助方法、摂食・嚥下、誤嚥、コミュニケーション等。

6. リハビリテーション出張講座

入所施設、在宅事業所等にて計4回実施。内容は介助の工夫、嚥下の基本・練習、身体機能トレーニング等。



7. 介護予防普及啓発事業

第5回介護予防まつり in まえばし
～ピンシャン！元気で明るいまちづくり～



H25年度 事業計画

昨年度とほぼ同様に事業を行う予定です。

<Topics>

～一般研修開催予定～

ケアマネや介護職などのリハ関連職種向け研修会は、11月30日(土) 14:00～16:00 老年病研究所附属病院にて「**車椅子シーティングの基礎**」というテーマで、群馬大学医学部保健学科教授亀ヶ谷忠彦氏にお話をさせていただく予定です。

施設利用者様は毎日多くの時間を車椅子に乗車し過ごされています。快適な姿勢や良好な姿勢でいることは、施設内でのADLや動作・活動に大きな影響を与えます。そのため、車椅子の選定や座位姿勢について考えることはとても大切なことです。普段利用者様が当たり前のように使用している車椅子やその姿勢について改めて考えるいい機会になればと思います。

～第6回介護予防まつり in まえばし～

12月1日(日)に例年通り前橋市総合福祉会館にて開催されます。

～新規事業～

リハビリテーションに対する理解を深め、地域で助け合う技術を身につけることを目的に、地域住民を対象としたコミュニケーションや介護技術を学ぶ実地研修を行う予定です。



脳卒中片麻痺者の方で、肩の痛みを訴える方は多いように感じます。肩の痛みを引き起こす要因には様々なものが考えられます。今回は痛みを予防するという視点から、亜脱臼を呈した方への対処法として、アームスリングについて紹介します。

*アームスリングとは？

腕を固定するために使用される肩関節装具です。三角布や、カフとひもを組み合わせ懸垂するタイプのものなどがあります。



三角布



カフタイプ(既製品)



手作りのもの

*どんなときに使う？

脳卒中の場合、片麻痺により肩関節周囲の筋肉が弱くなり、亜脱臼を引き起こすことがあるため、亜脱臼予防に使用されます。装着の際は、手で肩を触りくぼみがない位置で長さを調整します。普段の痛みの予防だけでなく、歩行時に使用することで姿勢を修正することにも使用したりします。

*注意点は？

長時間の使用は関節拘縮を助長することがあります。装着期間中はROM(関節可動域)訓練を併用します。適応については症例により異なるので、専門家にご相談ください。

編集後記

今年も暑い日が続きますが、体調管理をしっかりと夏を乗り切りましょう！！

次号もお楽しみに！！

上村